

第1回中小企業・小規模企業振興会議でいただいた意見と施策の検討

【資料2】

※「沼田市の施策」欄【 】内は、「資料1」の施策番号

No	項目	意見	沼田市の施策	国・県・他市町村の施策
1	企業交流・ 販路拡大	・異業種・他業種が意見交換することにより刺激となり、今までにない価値観が生まれる。	・ぬまた市産業展示即売会【(2)-④】 ・新商品等開発支援事業（にっぽんの宝物）	・企業情報交換会（大泉町） 10月12日 大泉文化むら 参加：210企業・団体 マッチング率60%以上
		・ビジネス交流会等の出展や商談には費用がかかるため助成をお願いしたい。	・中小企業自社製品等販路開拓支援事業費補助金【(2)-③】	・技術振興展示会等助成（高崎市） 補助率：1/2 限度額：出展料20万円（海外は30万円） 開催費50万円
2	人材確保・ 雇用創出	・若い世代の早期離職を食い止める取組が重要である。	・新規学卒就職者研修会（就職後研修）【(3)-①】	
		・企業誘致に合わせた雇用の確保が必要である。	・企業誘致推進助成金（雇用促進助成金）【(9)-①】 ・サテライトオフィス等誘致推進補助金（雇用拡大助成金）【(9)-②】	・Gターン！ぐんま若者応援就職面接会（群馬労働局・県） 8月8日 Gメッセ 参加：県内42社（市内1社）
		・高校生が色々な企業を知るチャンスがあるとよい。 ・地元に残って就職する生徒を育てたい。 ・地域で働くことについて高校生に伝えたい。	・高校生のための企業ガイダンス（説明会）【(3)-②】	・行政機関インターンシップ（ハローワーク沼田） 6月16日 沼田高校（定時制）生徒によるテラス沼田見学 セミナー受講
		・高齢者が働きやすい環境をつくるための補助制度など、高齢者雇用に目を向けた方が雇用が充実するのではないか。	・シルバー人材センター事業	
3	事業継続	・コロナ禍後に、廃業する事業者が増加している。	・経済団体への助成【(1)-①】 ・制度融資事業【(4)-①】 ・事業承継相談【(4)-③】	

No	項目	意見	現行の施策	先進事例等
4	地域経済循環	・電子地域通貨tengoo（てんぐー）を活用し、地域の中でお金を回していくことが大事である。	・電子地域通貨事業【(6)-①】	
		・観光客を呼び入れることにより街が活性化する。観光バスによる来訪者に再度来ていただける工夫が必要。	・観光推進、都市間交流	
		・観光振興、インバウンド、会議・イベント・スポーツの受入により関係人口を創出する。	・観光推進、都市間交流	
		・住民と商店（業者）が接点を持ち、関係性を築くことにより、地域内消費・商店街活性化につながる。	・経済団体への助成【(1)-①】	
5	情報公開	・情報の入手はインターネットが主。施策の実施に合わせ、適切に情報公開することにより市民の理解を得ることが大事である。	・振興施策の実施状況の公表【条例第12条】	
6	道路・水路の整備	・道路・水路の整備は産業振興にとって重要である。	・道路(水路)整備・維持補修	
7	空き家対策	・空き家対策をどうか、考えて行きたい。	・管理者への通知 ・空き家相談 ・空き家解体補助金	
8	人口減少対策・担い手不足解消対策	・人口減少により、学校統廃合問題等、経済環境だけでなく生活環境の変化が予測される。		
		・65歳過ぎても地元の細かいことをする仕事があるとよい。	・シルバー人材センター事業 ・市民協働・地域づくり	